

問1 7世紀半ばまでの日本が、遣隋使や初期の遣唐使を派遣して中国の王朝と交流を持った主な目的として、最も適切な説明はどれか。 (2024年 大分県公立入試 類似)

1. 白村江の戦いにおいて中国の王朝を軍事的に支援し、朝鮮半島での領土を拡大するため。
2. 中国の進んだ制度や文化を取り入れることで、国内の政治体制を整え国力を高めるため。
3. 全国的な戸籍を効率よく作成し、民衆から重い税を確実に徴収する技術を習得するため。
4. 東大寺の大仏建立に必要な銅を確保し、仏教による国の安定を図るための技術協力を求めるため。

問2 中部地方に位置する長野県の農業について、2016年の農業産出額の品目別割合を示した資料に基づいた説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この資料では群馬県、富山県、愛媛県と比較して長野県の特徴が示されています。 (2019年 大分県公立入試 類似)

1. 麦類や豆類の産出額が中心であり、果実の割合は他県よりも低い。
2. 野菜の占める割合が非常に高く、次いで果実の割合も他県に比べて大きい。
3. 米の産出額が全体の半分以上を占めており、野菜の割合は極めて低い。
4. 畜産の産出額が最も大きな割合を占め、野菜の栽培はほとんど行われていない。

問3 16世紀にドイツのルターらが「聖書に書かれていることのみを信仰のよりどころにすべきだ」と主張して宗教改革を始めましたが、これに対してカトリック教会側がとった行動とその目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)

1. ルターの考えに賛同し、聖書をドイツ語などの各国の言葉に翻訳して普及させた。
2. 教皇の権威を高めるために十字軍を組織し、イスラム勢力から聖地を奪還した。
3. 免罪符（贖宥状）の販売を停止し、キリスト教以外の宗教との共存を目指した。
4. 組織の立て直しを図るためにイエズス会を結成し、海外への布教を積極的に行った。

問4 1950年代から1990年代にかけての日本経済の歩みについて、時期の古いものから順に正しく並べたものはどれか。 (2017年 大分県公立入試 類似)

1. 朝鮮戦争に伴う朝鮮特需による景気回復、石油価格の高騰によるオイル・ショック、地価や株価が異常に上昇したバブル経済、その崩壊後の平成不況
2. 地価や株価が異常に上昇したバブル経済、石油価格の高騰によるオイル・ショック、その崩壊後の平成不況、朝鮮戦争に伴う朝鮮特需による景気回復
3. 石油価格の高騰によるオイル・ショック、地価や株価が異常に上昇したバブル経済、朝鮮戦争に伴う朝鮮特需による景気回復、その崩壊後の平成不況
4. 朝鮮戦争に伴う朝鮮特需による景気回復、地価や株価が異常に上昇したバブル経済、石油価格の高騰によるオイル・ショック、その崩壊後の平成不況

問5 ヨーロッパ各国の宗教分布を比較したとき、イタリアとフランスに共通する特徴について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)

1. 東ヨーロッパ諸国との交流が盛んなため、正教会を信仰する人が最も多い。
2. キリスト教のカトリックが広く普及しており、北欧諸国とは異なる傾向にある。
3. 地中海に近い地理的条件から、イスラム教を国教として採用している国が多い。
4. キリスト教のプロテスタントが主流であり、ノルウェーやスウェーデンと同じ傾向にある。

問6 20世紀初めの東アジアにおいて、ロシアが満州付近まで勢力範囲を広げ、日本の隣接地にまで影響力を及ぼしていた状況下で行われた外交政策の説明として、最も適切なものはどれか。 (2017年 大分県公立入試 類似)

1. 日本がドイツとの同盟を強化し、イギリスと協力してアメリカの勢力拡大を抑えようとした。
2. 日本がロシアとの軍事同盟を優先し、イギリスの中国分割を阻止しようとした。
3. イギリスが「光榮ある孤立」を捨て、ロシアの南下政策を阻止するために日本と同盟を結んだ。
4. 清がロシアと密約を交わし、日本とイギリスの進出を阻むために三国干渉を主導した。

問7 アフリカ中部に位置するコンゴ民主共和国における日本の援助内容について、現地の地理的環境を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)

1. プレート境界における地震観測網の構築と、津波に対する防災教育の普及
2. サハラ砂漠の南下を防ぐための植林事業と、灌漑施設の整備による干ばつ対策
3. 世界有数の熱帯雨林を保護するための森林保全や、公衆衛生向上のための感染症対策
4. 北米市場に近い立地を活かした輸出入産業の育成と、都市部の防災インフラ整備

問8 アフリカ大陸の周辺を通る緯線と経線の位置関係について述べた文として正しいものはどれですか。ヴィクトリア湖付近を通る緯線と、アルジェリアやガーナなど大陸の西側を通る経線の名称の正しい組み合わせを選びなさい。 (2017年 大分県公立入試 類似)

1. 緯線は赤道、経線は東経135度線
2. 緯線は南回帰線、経線は本初子午線
3. 緯線は赤道、経線は本初子午線
4. 緯線は北回帰線、経線は西経20度線

問9 幕末の1867年にフランスへ赴き、現地の銀行や株式会社の仕組みを学んだ経験を活かして、後に「日本資本主義の父」と呼ばれた人物が行った業績として適切なものはどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)

1. 第一国立銀行などの設立に関わり、多くの株式会社の創設を支援した。
2. 学問のすゝめを執筆し、個人が自立して経済活動を行うことの重要性を説いた。
3. 三菱財閥の基礎を築き、海運業を中心に日本の近代産業を牽引した。
4. 内閣総理大臣として、金本位制の確立や日本銀行の設立を主導した。

問10 1972年にアメリカの施政権下にあった沖縄が日本に返還された際、日本の議会制度において行われた対応について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 大分県公立入試 類似)

1. 復帰後すぐに衆議院において、全国に先駆けて小選挙区比例代表並立制が導入された。
2. 沖縄県の復帰に合わせ、国会における国民の代表を確保するために参議院議員などの議員定数が増員された。
3. 小笠原諸島の返還時と同様に、既存の都道府県の議員定数を削減して沖縄県に割り当てた。
4. 返還を機に、沖縄県にのみ適用される地方自治法上の特別な自治権が認められた。

問11 江戸時代の大名たちは、江戸城下での生活において、登城の際に弁当を持参するなど、非常に多くの出費や制約を伴う生活を送っていました。幕府がこのような参勤交代の制度を諸大名に課した、政治的背景・目的として最も適切なものはどれですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)

1. 全国交通網を整備し、幕府が地方の特産品を独占的に買い占める体制を作るため
2. 江戸の人口を増加させることで都市開発を促進し、幕府の税収を大幅に増やすため
3. 大名の家族を江戸に住まわせることで、西洋の学問や文化を効率的に学ばせるため
4. 大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させ、経済力を削ぐことで幕府への反乱を防ぐため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 中国の進んだ制度や文化を取り入れることで、国内の政治体制を整え国力を高めるため。	当時の日本は、中国の高度な政治制度（律令制）や仏教、芸術、学問などを組織的に導入することで、中央集権的な国家体制を確立しようとしました。白村江の戦いよりも前の時期から行われていたこれらの派遣は、国内の制度改革を主眼に置いたものであり、奈良時代の聖武天皇による大仏建立や、後の時代に行われる政策とは背景が異なります。
問2	答え 2 野菜の占める割合が非常に高く、次いで果実の割合も他県に比べて大きい。	長野県は中央高地の冷涼な気候や水はけの良い傾斜地を活かし、レタスやキャベツなどの高原野菜、およびリンゴやブドウなどの果実の栽培が非常に盛んです。そのため、農業産出額の構成を見ると、米が中心の富山県や、畜産の割合が高い地域とは異なり、野菜と果実が大きな割合を占めているのが特徴です。
問3	答え 4 組織の立て直しを図るためにイエズス会を結成し、海外への布教を積極的に行った。	ルターらによるプロテスタントの動きが広がると、カトリック教会は内部から改革を行い、勢力を回復させる必要に迫られました。その中心となったのがイエズス会であり、彼らはヨーロッパ内での布教だけでなく、アジアなどの海外へキリスト教を広める活動を展開しました。これが後のフランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来にもつながっています。
問4	答え 1 朝鮮戦争に伴う朝鮮特需による景気回復、石油価格の高騰によるオイル・ショック、地価や株価が異常に上昇したバブル経済、その崩壊後の平成不況	日本の戦後経済は、1950年に始まった朝鮮戦争による「朝鮮特需」をきっかけに復興の足がかりを掴みました。その後、1973年の第4次中東戦争を背景とした「オイル・ショック」によって高度経済成長が終焉し、安定成長へと移行します。1980年代後半には不動産や株式への投資が過熱する「バブル経済」が起こりましたが、1990年代初頭にこれが崩壊し、長期的な景気後退である「平成不況」へとつながりました。
問5	答え 2 キリスト教のカトリックが広く普及しており、北欧諸国とは異なる傾向にある。	ヨーロッパにおけるキリスト教の分布は地域ごとに特色があります。イタリアやフランスを含む南ヨーロッパや西ヨーロッパの一部ではカトリックが強く、イギリスやドイツ北部、北欧諸国ではプロテスタントが、東ヨーロッパでは正教会が主に信仰されています。イタリアとフランスは地理的に隣接しており、歴史的な背景からともにカトリックの影響を強く受けています。
問6	答え 3 イギリスが「光栄ある孤立」を捨て、ロシアの南下政策を阻止するために日本と同盟を結んだ。	当時のイギリスは、特定の国と軍事同盟を結ばない「光栄ある孤立」という外交方針を維持していましたが、ロシアの中国進出が自国の利益を脅かすようになると、同じくロシアの南下を警戒していた日本との間で日英同盟を締結しました。当時の情勢を示す資料では、ロシアが満州に広大な勢力範囲を持ち、日本の利害に関わる地域に迫っていたことが示されています。
問7	答え 3 世界有数の熱帯雨林を保護するための森林保全や、公衆衛生向上のための感染症対策	コンゴ民主共和国は赤道付近に位置し、世界第2位の規模を持つ熱帯雨林が広がっています。この貴重な自然資源を守るための森林保全支援や、深刻な健康被害をもたらす感染症への対策が日本のODAの主要なテーマとなっています。干ばつ対策はより北の乾燥した地域、防災協力は地震リスクのある環太平洋地域などで重視される傾向にあります。
問8	答え 3 緯線は赤道、経線は本初子午線	アフリカ大陸の中央部、ギニア湾からヴィクトリア湖付近を横断する緯線は、緯度0度の基準となる赤道です。また、イギリスのロンドン付近を通り、アフリカ大陸の西部（アルジェリアやガーナ付近）を南北に貫く経線は、経度0度の基準となる本初子午線です。これら2つの基準線が大陸付近で交差していることは、アフリカ大陸の地理的位置を把握する上で重要な特徴となります。
問9	答え 1 第一国立銀行などの設立に関わり、多くの株式会社の創設を支援した。	渋沢栄一は、幕末に徳川昭武に随行して訪れたフランスで、近代的な経済システムに触れました。帰国後、その知識を活かして日本初の銀行である第一国立銀行を設立したほか、500社以上の企業の設立に関わりました。彼は個人の利益だけでなく、社会全体の利益を追求する「道徳経済合一説」を唱え、日本の近代化に大きく貢献しました。
問10	答え 2 沖縄県の復帰に合わせ、国会における国民の代表を確保するために参議院議員などの議員定数が増員された。	1972年の沖縄返還は、単なる領土の回復だけでなく、沖縄県民が日本の国政に参加する権利を保障する重要な節目となりました。そのため、当時の参議院議員選挙などの制度において、沖縄県の復帰分として議員定数を増やす調整が行われました。小笠原諸島の返還は1968年であり、沖縄返還とは時期が異なります。また、衆議院に小選挙区比例代表並立制が導入されたのは1994年の政治改革によるものであり、沖縄返還の時期とは重なりません。
問11	答え 4 大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させ、経済力を削ぐことで幕府への反乱を防ぐため	参勤交代は、大名の軍勢力を削ぐための極めて効果的な統制策でした。大名行列を伴う江戸と領地の往復や、江戸の屋敷を維持するための莫大な費用は、各大名の財政を圧迫しました。これにより、幕府に対して武力による反乱を起こすだけの経済的な余裕を奪うことが、この制度の主要な目的でした。また、家族を江戸に置くことは、実質的な人質としての意味も持っていました。